当世風俗五十番歌合

上

2
39
2

當世風俗五十番歌合巻上

754
I7
Freer Gallery of Art
Washington, D. C.
9492

當世風俗五十番歌合

目録

左	右
被選代議士	女將
食客	下女
藝妓	醫者
俳優	相撲
神職	僧侶
官吏	小使
田舍婆	産婆
髪床	履屋
高等地獄	和製ハイカラ
愛國婦人會員	出征軍人
流行の新屋	肉屋

宣教師　神女
飴屋　音楽師
大原女　魚釣
村長　小學教員
幇間　宗匠
人力車夫　牛飼
豆腐屋　石切

法界節　浄瑠璃語
壮士　高利貸
汽車旗振　電車札切
消防夫　巡査
ガイド　ボーイ
西洋畫師　日本畫師
石版師　木版師

工女　工夫

下駄直　散髪屋

號外賣　牛乳屋

水兵　看護婦

令嬢　写真師

植木屋　桶屋

賣卜者　碁打

ペンキ塗　紺屋

紙屑買　興行師

赤ん坊　赤帽

船頭　荷車引

呉服屋　洋服屋

氷屋　焼芋屋

女教師　新聞記者

撒水夫　瓦斯點火夫

辯護士　落語家

郵便脚夫　小使

學生　女學生

按摩　歸織工

於傳ひ屋　按察屋

捕繩人　鳥刺し

藥賣　風船玉賣

磨さらし　犬ころし

托鉢　尼

大くら里　やふ醫者

壱番

左　初出代はせ士

都にハ人の出代り乃始まりて春にも合はぬ[illegible]

右　女将

[illegible]

判

[illegible]

二番

左　食客

[illegible]

右　下女

[illegible]

判

[illegible]

三番

左　藝妓

[illegible]

右　醫者

[illegible]

判

[illegible]

四番

左　俳優

見物を近よせぬやつ目に役者の顔見世[illegible]今[illegible]下げ[illegible]あり

右　相撲

地の底[illegible]の[illegible]婦人[illegible]十日[illegible]

判

俳優[illegible]揮[illegible]婦の甲[illegible]の下[illegible]
[illegible]疑[illegible]技合[illegible]出世[illegible]

開化風俗五十番歌合

五番

左　神職

[illegible]猿が[illegible]疫の猿[illegible]清まる[illegible]

右　僧侶

彼岸会の布施[illegible]滅法[illegible]

判　猿[illegible]滅法[illegible]

[illegible]

六番

左　官吏

拂ひの見えぬ思へるも官吏の無駄なる[illegible]

右　小使

浮世の中の人の[illegible]

判

無駄[illegible]

七番

左　田舎婆

小娘は桂之宮猶よりか成のうへに[illegible]参りけり

右　産婆

かゝりし理律で用ゆる漢語や産婦に[illegible]の女かしら

判

かゝる漢語のまじる理なきを小娘の我
赤ん坊鬼の語より老婆の心の奥ゆかしさ[illegible]

八番

左

[illegible]のかけて[illegible]の月[illegible]

蚤也

右

[illegible]の道までハ今の世に[illegible]

履屋

判

左右とも[illegible]の職人にて世[illegible]眼力

[illegible]

九番

左　こゝち地獄

杉ゐの石きしまうち乾なくうらめしきあの風なとはなや

右　和魂ハイカラ

ハイカラハ首にまきたる毛皮さへかなしかりける黄色しみたる姿にも似たれ

判

なまいの奥さま頬りかけりしかハ黄色をくやむハイカラハ黄色を悔しきハイカラの情白まるや

十番

左

[illegible]

[illegible]

右

出征軍人

[illegible]哈爾賓[illegible]

判

[illegible]軍人[illegible]

[illegible]報國[illegible]

十七番

左　[illegible]屋

[illegible]

右　肉屋

[illegible]

判

[illegible]

十二番

左　　　宣教師

十字架[illegible]

右　　　神女

[illegible]神の[illegible]

判

十字架[illegible]神[illegible]の舞[illegible]

十三番

左　　　飴屋

世の中にあまたの子らはよりくれどわが竹の笛をふきならすかな

右　　　音樂師

ヴイヲランの音にもにたるちやるめらのふえをきゝてはいかにおもはん

判

ヴイヲランは唐より渡りたりけれどかの物よりくはしくはあらじ
今はちやるめらといふものゝ調子にもにて飴を
売る人の笛のねにまさるとも

十四番

左　大原女

[illegible]

右　魚釣

[illegible]

判

[illegible]

十五番

左　　村長

いくたひか村をはなれて東京乃まちにまゐりて村長のよはかはらぬ心せまけり

右　　小學教員

教員といふ人をはしめの生徒にも簡易の助手と教へ村長のかたにかなひぬ

判　村長の御かたは軍人の東京乃ほうり第幾遠く
あるもあまた用ゐられ作文教授乃方針あきらかなる
いかなる人もつとめかまへて國家に報恩乃理を

著し

十六番

左　幇間

ひゞ侍の殿の咸宏て此のあまたちと甲斐は頭を搔

右　宗匠

詠めの人の了股のある世にもはや俳諧もてはやし[illegible]

判

幇間の口ばしりめでたく[illegible]右はつけてありの[illegible]世の中[illegible]の[illegible]舞

十七番

左　人力車夫

[illegible]

右　牛飼

[illegible]

判

[illegible]

滑稽風俗二十番歌合

十八番

左　　豆腐屋

[illegible]

右　　石切

[illegible]

判

[illegible]

十九番

左　　法界節

小ふしある声は伊達にて十方世界に響く法界ふしかな

右　　浄瑠璃語

遊びには浄瑠璃語る程もよし語りはじめの節のおもしろさ

判

浄瑠璃の語りはじめは人の生殺与奪の権を持つ也されど法界節の流行の乏しきは論に及ばず

二十番

左　壮士

大丈夫は我こそなれと倶楽部に席を占め年頃しもせばいつも勢む

右　高利貸

眼（マナ）こはゆるみの玉のかはりに紙きれの鬼のしわざにも似る筆

判

まことは我の方は壮士方も強いて高利貸の勝とすに至らんと侍る

二十一番

左

涑なはらの娘

はらの旗ふりまいつゝ見る人ハ寄せとも涼のなほ世にかの見る涼く

右

電車札切

長のりの代りにかへし笑ふ人の出てかたよりて嫌もしらぬ切り込みの客

判 いかなる者にても笑ハれぬハ笑ふ人乃薬までかゝる人の身の上の事

主筆

二十二番

左　消防夫

江戸ッ子の気まへを見せて纏持ち振るや火の中水の中

右　巡査

見よ丁寧に人の難儀を救ふこそ職務を重んずる人の務なれ

判　火水の違あれども各其職務に於て大に称讃すべき[illegible]
白き気の働きは世のため人のためなり
持となすべし

二十三番

左　　　　ガイド

異人コンミッション我が身にて暮しを立つる[illegible]

右　　　　ボーイ

カツレツの衣を着たる豚肉の[illegible]

判

[illegible]

異人乃コンパカツレツは[illegible]

二十四番

左　　　　西洋画師

モデルにはやとひし女は衣ぬぎすてゝ恥かしの色もなかりけり

右　　　　日本畫師

画をかくに風流を運りくまゝに虎尾かきしも猫に似るかな

判　左歌はその力なきものからモデルに恥かしくへの記法
右の歌優りてまさるべくや

当世風俗五十番歌合

二十五番

左　　　　　　石版師

摺り出せる色の鮮らに石版乃目かすミた所世に蔭せし丸

右　　　　　　木版師

三ツ木の目をひめあをぶ鳥も人のちからなき世をへての摺むかし

判

近き比標を出す海の法みたの事とす石版にも勝れど下りの木版乃世ハ行きれ代さるの

なかなかにまされりとめでし

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

754
.I7